小学生3年・4年生レヴェル国語文章問題　1A－01

次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

アナウンサーが「おはようございます。今日も暑くなりそうですね。では、まず最初のニュースです」と言ったら、あなたは変だと思いますか。

日本語のルールだと、このアナウンサーは間違っていることになります。「まず」と「最初」は同じ意味ですから、続けて同じことを言ったことになり、良く無いとされているのです。

しかしこのように連続して使ってしまっている場面は日常生活では結構あると思います。

「まずはじめに」も「まず」と「はじめ」は同じ意味です。

「一番最後」や「約一メートルくらい」や「だいたい一メートルほど」もそうです。

では、こうしたルール上ではダメとされている日本語は、全部直した方が良いのでしょうか。

これはなかなかむずかしい問題ですが、ルール上はダメだとしてもすでに多くの人が使っている定着しているものについては、普段の生活で使う分には大きな問題はないと思われます。

なぜかというと、一つ目は言葉というのは相手に伝わるということが大事だからです。ルールに沿って使うこともちろん大事ですが、より大事なのは相手に伝わることです。ですから「約一メートルくらい」は変ではありますが、「だいたい一メートル」という意味でちゃんと伝わるので、日常生活の使用ではさほど問題にはならないでしょう。

二つ目は、言葉というのは常に変化しているということです。昔はダメとされていた言い方や使い方でも、時がたって現在では問題が無かったり、良しとされる使い方も多くあります。

［ア］「新しい」は「あたらしい」と読みますが、かなり昔の読み方は「あらたしい」でした。言葉遊びのように「ら」と「た」を逆に使っている人が多くなり、それが定着してしまったようです。

似たようなものに「重複」があります。これはもともと「ちょうふく」としか読めませんでしたが、多くの人が「じゅうふく」と間違って読むので、ついにそれでも良しとなったのです。

［イ］言葉というのは伝わることが重要ですし、さらに時代によって変わっていくものなのです。ルールも大事ですが、時と場合によってより柔軟に使っていきたいものです。

（縞井　一樹「いびつな真珠をうまく弾く」より）

問一　本文の内容と合っているものを、次の番号から一つ選びなさい。

1　「まず」と「です」は同じような意味である。

◎2　「約」と「くらい」は同じような意味である。

3　「だいたい」と「メートル」は同じような意味である。

4　「まず」と「くらい」は同じような意味である。

解答と解説

問二　この文章で作者の主張（もっとも伝えたいこと）を、次から一つ選びなさい。

1　アナウンサーでも「まず最初に」というような日本語のルールでは間違いとされている使い方をしているが、そうした使い方をすることはアナウンサーとしては良くないのでしっかりと直すべきである。後半が本文に無い。またアナウンサーの話は具体例であり主張ではない。

2　「まずはじめに」や「約一メートルくらい」は同じ言葉を連続して使っていてルールでは間違いだが、アナウンサーも使っているので学校などの日常生活で使っても大きな問題はない。前半は本文と合っているが、後半が本文に無い。

◎3　言葉はルールどおりに使うことは大事なことではあるが、相手に伝わることの方がより大事であるし常に変化してきたことも考えると、ルールからは少しはずれた使い方もできるものである。

4　「重複」の読み方が本来は「ちょうふく」だったのが「じゅうふく」と間違う人が多くなったせいでその読み方でも良いとなったように、間違う人が多くなればいずれは正しい読み方になっていくものである。前半は本文にあり後半も近い内容が本文にあるが、作者の主張ではなく具体例である。

問三　空欄（くうらん）［ア］と［イ］に入る言葉を番号から選びなさい。

ア　(1)　つまり
　　(2)　しかし
　　(3)　◎たとえば　後が具体例なので　たとえば　が入る。
　　(4)　そして

イ　(1)　◎このように
　　(2)　たとえば
　　(3)　なぜなら
　　(4)　しかし

ワンポイント解説　具体例をいつくか出して、それらの話をまとめて作者の主張を言う時に　このように　はよく使われる言葉です。